



木もれびの森の野鳥たち 11月

<実りの季節、野鳥たちは食べ物を求めて>

アカメガシワの黒い実は早くから野鳥の目にとまり、10月の半ばには渡り途中の鳥たちもまじって、食べつくされていました。鳥の目には赤や黒の色の実は目立つ存在のようです。また、**キビタキ**や**エゾビタキ**は虫ねらいのようで、林間や目立つ枝先で飛んでいる虫をフライキャッチで捕まえていました。モズは例年通り、10月半ばには戻ってきて、畑や開けたところでキィキィと高鳴きしてなわばり宣言。芝生広場の草地ではバツタをねらっていました。

11月に入ると冬鳥たちが姿を見せます。この冬の第一陣は、10月24日の**ジョウビタキ**でした。第二陣は・・・？ この時期、ムクノキ・エノキ・ミズキなど木の実が残っている樹木の下を歩くと、パチパチと実をついばむ音が聞こえてくることがあります。ごちそうを見つけて、夢中で食べている野鳥たちの食事の音。耳を澄ませて鳥たちが発する小さな信号を聞き取ってみるのも、楽しい発見があります。そして種子散布をめぐって植物と鳥との面白い共生関係も見えてきます。(瀬尾)



ジョウビタキ♂



アカメガシワの実



ミズキの実

こもれびの森の樹木(10)

秋もたけなわのこもれびの森も春に花を咲かせた樹木は今や果実を実らせています。

こもれびの森の樹木は高木が多く樹木の花自体が小さく目立たないことが多いので果実もなかなか見つけにくいですね。花の咲く樹木は実をつけるわけですが、花が咲くまでは日当たりの良いところでも10年以上かかります、また、立地条件が悪ければ花が咲かないこともあります。

こもれびの森は深い木立に覆われた森で、林冠(一番上の葉の層)を形成する樹木には日が良く当たりますが、下層は暗くなっています。このような森では花も実もつける条件が良いとはいえません。

花や実が見られる森は田畑や伐採地など開けた環境で明るくチョウや鳥が好む低木や草本が生えるのが、花も実もあるといえます。

こもれびの森の活動地B地区(ジュニアボランティア活動地)には**コブシ**が3本生えていて樹名板を取り付けています。

コブシはモクレン科モクレン属で北海道から九州まで各地



コブシの実の袋



コブシの実

に見られます。花は3~4月に葉が展開する前に香りのよい白色の大きな花をつけます。実は集合果で10月頃に熟すと劣開し赤い種がぶら下がります。名前の由来はこの集合果が握りこぶしに似ていることから漢字では“辛夷”と書きます。

中央緑地のトイレの近くには5本の細い**カキノキ**の木があり、木の上部に小さな実をつけていて鳥の餌になっています。

カキノキはカキノキ科カキノキ属、中国原産で果樹として美味しく食用にされますが、用材は黒檀の仲間と家具や楽器として珍重されています。

10月10日の相模原麻溝公園でのオータムフェアには“相模原こもれび”は毎回参加していますがリース、クラフトのコーナーでは、木の実40種類、草の実15種類取り揃え大変好評でフェア終了間際まで賑わいました。(林)

木もれびの森に咲く花

今年は例年になく暑さが厳しく、温暖化の影響ですか?・・・ヒガンバナの開花時期や紅葉の時期などが1週間から10日くらい遅れたようですね。

今回は秋の花**ホトギス**を載せてみました。ホトギスは種類が多く花の形が変わっていて美しいので山野草の愛好家が多く、珍品と言われるものは少なくなっているそうです。木もれびの森の“ホトギス”も数が少なくなっているような気がします。ヤマホトギスはE地区に群落をつくり生えています。



ホトギス(杜鵑草) ユリ科 花期-9~10月

このホトギスは普通に見られるもので、林の中に斜めに立っていることが多い。丈は40~90センチくらいです。谷川のふちの崖などにはえているものは水辺に向かって垂れ下がり花を咲かせ風情有りますね。花は葉の付け根から2~3個でて上向きに咲きます。茎には毛がはえ、葉は互生で毛が多く触るとふかふかした感じがします。



ヤマジノホトギス

(花が開くと花被片は下方にそり返らない) ヤマホトギスの花との比較に載せてみました。見比べてください。



ヤマホトギス ユリ科 花期-7~8月

東京近郊の山にはこのホトギスが多いようです。丈は30~80センチくらいで花はホトギスに似るが花の柄が長く伸び、花が房になってたくさんつくのが特徴です。花びらは最初横に水平で後に垂れて写真のようになる。名はどちらも花びらの斑点模様、下方の葉のはん紋を鳥のホトギスの胸毛に似ているところから呼ぶようです。(田崎)

【活動地の看板】

活動地を示す看板が痛んでいましたので、新しいものと交換しました。また、植生調査区域とカントリーヘッジの看板を新規に設置しました。

森林ボランティア活動地

この雑木林は土地所有者の好意により、相模原市とパートナーシップを結んで、下草刈りや間伐など森林の保全のための活動を行っています。

NPO 法人 相模原こもれび
(<http://komorebi.bine.jp/>)

ジュニアボランティア活動地

このエリアは土地所有者の好意により、近隣に住んでいる「木もれびの森ジュニアボランティア」の子供たちと、下草刈りや落ち葉掻きなど、森林の保全のための活動を行っています。

NPO 法人 相模原こもれび

植生調査区域

ロープで囲んだ区域ごとの植物の種類や数を定期的に調査しています。

自然の植物の採取や園芸植物の植栽を行わないように御協力ください。

NPO 法人 相模原こもれび

カントリーヘッジ

自然の低木を編んで作る生垣です。虫や小動物のかくれ家となります。道路や散策路との境界に設置しています。

NPO 法人 相模原こもれび